

平成30年度

第1回 大垣市環境審議会会議録

(平成30年8月1日)

## 平成 30 年度 第 1 回 大垣市環境審議会会議録

平成 30 年度第 1 回大垣市環境審議会を、平成 30 年 8 月 1 日（水）大垣市役所本庁舎 3 階合同委員会室において開催した。

その次第は、次のとおりである。

- 次第
- 1 開会あいさつ
  - 2 諮問  
市の昆虫について
  - 3 議事
    - (1) 大垣市環境基本計画の実績報告について
    - (2) 大垣市地球温暖化対策実行計画の実績報告について
    - (3) 市の昆虫について
  - 4 その他

本日の委員の出欠席は、次のとおりである。

出席委員 永瀬 久光 委員、伊東 誠 委員、渡辺 貞子 委員、  
服部 淑子 委員、後藤 文夫 委員、岡部 哲也 委員、  
森部 圭一 委員、小塚 康弘 委員

欠席委員 小林 信介 委員、横井 香織 委員、大洞 とく枝 委員、  
成瀬 重雄 委員、柳田 美樹 委員

本日の会議出席者は、次のとおりである。

大垣市長 小川 敏、生活環境部長 馬淵 尚樹、環境衛生課長 青井 明彦、  
環境衛生課主幹 森井 信悟、環境衛生課主事 森本 崇

本日の書記は次のとおりである。

環境衛生課主事 森本 崇

(開会時刻 午後 1 時 58 分)

事務局（青井課長）

定刻よりも少し早いですが、皆さんお揃いですので、ただ今から平成 30 年度第 1 回大垣市環境審議会を開催させていただきます。本日の司会を務めさせていただきます、環境衛生課長の青井でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開催に先立ちまして小川 敏 大垣市長より挨拶を申し上げます。

小川市長

**【市長あいさつ】**

事務局（青井課長）

ありがとうございました。それでは引き続きまして、諮問に移らせていただきます。

本市では、平成 19 年 7 月に制定いたしました大垣市環境基本条例に基づきまして、水環境保全のシンボルとして市の魚をハリヨと制定しております。

この度、市制 100 周年を記念いたしまして、本市の良好な環境を保全するとともに、持続的発展が可能な社会を創出し、将来世代へと引き継いでいくため、環境保全のシンボルとして市の魚に加えまして、新たに市の昆虫を制定することとなりました。

つきましては、市の昆虫の制定にあたりまして、市長から大垣市環境審議会のご意見をいただきたく諮問するものでございます。それでは、市長よろしく願いいたします。

小川市長

**【市長が諮問文を読み上げ、永瀬会長に手渡す。】**

事務局（青井課長）

ありがとうございました。

それでは、市の昆虫につきまして、大垣市環境審議会委員の皆様方には慎重なご審議をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、市長につきましては、公務のためここで退席をさせていただきます。よろしく願いいたします。

**【市長退席】**

事務局（青井課長）

続きまして、本日の審議会成立のご報告をさせていただきます。

本日は小林 信介 委員、横井 香織 委員、大洞 とく枝 委員、成瀬 重雄 委員、柳田 美樹 委員から欠席とのご連絡をいただいておりますが、出席委員が過半数に達しておりますので、大垣市環境審議会規則第 3 条第 3 項により、本審議会が成立していることをご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして永瀬会長からご挨拶をお願いしたいと思います。

永瀬会長

**【会長あいさつ】**

事務局（青井課長）

ありがとうございました。

議長（永瀬会長）

それでは、これより議事に移りたいと思います。

審議会規則第3条第2項の規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので、議事の進行につきましては、永瀬会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、議長を務めさせていただきます。

議事進行がスムーズにいきますように、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

それではまず、傍聴者の確認をいたします。大垣市環境審議会規則第4条により、●●●●さんから傍聴の申し出がありました。傍聴を認めることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

#### 【挙手多数】

出席委員の過半数がございましたので傍聴を認めます。傍聴希望者は入室してください。

続きまして、本日の会議録署名者についてですが、私の方から指名させていただきます。岡部 哲也 委員と森部 圭一 委員に、お願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

それでは、議事に移らせていただきます。

議題（1）ですが、「大垣市環境基本計画の実績報告について」を事務局より説明願ひます。

事務局（森井主幹）

事務局を担当しております環境衛生課の森井でございます。よろしくお願ひいたします。着座にてご説明を申し上げます。

それでは、大垣市環境基本計画の実績報告についてということで、資料No.1-1をご覧ください。大垣市環境基本計画改訂版【後期計画】及びその行動計画である第2次エコ水都アクションプランの実績報告について、平成29年度の結果をまとめたものです。なお、資料No.1-2にその詳細の結果を記載しておりますが、資料No.1-1を基に説明させていただきます。

それでは、「2 平成29年度実績値評価」ですが、環境基本計画には6つの基本目標があり、それぞれに個別目標そしてそれに対する個別指標が設定されておりますが、その個別指標の数値目標に対しての達成状況の結果を示しております。

評価方法としましては、平成29年度の年次目標が達成できたものは◎、基準値に対して年次目標まではいかないが基準値より良くなったものは○、基準値と同じ現状維持であれば△、未達成であれば×、－（ハイフン）は評価対象外を示しております。

実績値評価では、全部で33項目あり、◎と○が30項目と概ね良好な結果となっております。しかしながら、×が3つありますので、それについてご

説明させていただきます。

まず、基本目標1 水の潤いのあふれるまちですが、未達成の×が1つあります。表の下にも記載してありますが公共用水域の環境基準達成率が88.8%であり、基準値の90.1%を下回っています。これにつきましては、環境基準の項目の中に大腸菌というのがありまして、自然由来での影響もあり、なかなか全国的にも基準を達成することが難しい項目になっています。本市では、大腸菌が基準に設定されているのが杭瀬川と牧田川です。本市では杭瀬川で3か所、牧田川で3か所の計6か所で河川の水質調査を行っておりまして、それぞれのか所が年3回、合計で18回大腸菌の検査を行っておりますが、毎回基準を達成できておりませんでした。その結果、実績値が基準値を下回る結果となっております。

二つ目が基本目標2 環境にやさしいまちですが、未達成の×が1つあり、省エネ設備等導入支援補助件数が平成29年度は283件で基準値を下回っております。こちらの基準値の383件というのは平成23年度の補助の件数ですが、平成23年度当時は、LED照明や高効率給湯器の補助が中心となっております。ただ、年々補助の内容も変わっておりまして、現在は太陽光発電設備、地中熱利用ヒートポンプ、蓄電池などの補助に内容がシフトしてきております。また、平成28年度までは太陽光発電設備の補助件数が多く、基準値を達成してはいたしましたが、太陽光発電設備についてはある程度普及が進み、一般的になってきたということで市の方では太陽光発電設備の補助件数を徐々に減らしてしております。こういった太陽光発電の減少、また、補助の内容がシフトしている状況から、平成29年度は基準値を達成しませんでした。

次に基本目標3 安心して快適に暮らせるまちですが、未達成の×が1つあり、大気汚染の環境基準達成率が平成29年度は87.5%で基準値の88.2%を下回っています。こちらは市内の5か所で24時間大気汚染自動測定機にて各種の物質について大気環境測定を実施しておりますが、その中にオキシダントという項目がございます。光化学スモッグの原因物質でもありますが、こちらについては2か所で測定を行っておりますが、2か所とも環境基準未達成でした。こちらについても全国的にもなかなか達成できない項目でございます。

平成29年度の実績値評価の詳細については、資料No.1-2に記載しておりますので、後ほどお目通しいただけたらと存じます。

続きまして、「3 平成29年度の取組事項」の評価ですが、こちらは計画の取組内容に対し、行政の実施状況についてまとめたものです。評価方法としては、取組内容に対して実施したものは○、現状維持又は検討のみのものは△、未実施は×、評価対象外は－（ハイフン）としております。

基本目標1から基本目標6における153の取組事項に対して、○の実施が146項目となっており、各部局の積極的な施策の実施により良好な結果となっておりますが、現状維持（検討のみ）が4項目、評価対象外が3項目ありますので、それについて資料No.1-2で説明させていただきます。

それでは、資料No.1-2 の 7 ページをお願いします。基本目標 1 水の潤いのあふれるまちの評価対象外となっております、個別目標 1-1、環境施策③の「歩道のバリアフリー整備時において透水性舗装を実施します」という内容ですが、こちらは平成 29 年度計画がなかったということで、評価対象外としています。

次に 8 ページに移りまして、個別目標 1-2、環境施策②の取組内容「ハリヨの生息調査を実施します」ですが、こちらは平成 26 年度にハリヨの生息調査を既に実施済ということで、今回は評価対象外としています。

次に基本目標 2 環境にやさしいまちの評価対象外ですが、12 ページをご覧ください。

個別目標 2-5、環境施策②の取組内容「小水力発電の導入及び促進策について検討します」ですが、平成 25 年度に小水力発電のポテンシャル調査を既に実施した結果、適合箇所がなかったとのことでしたので、評価対象外としております。

次に基本目標 4 歴史とみどりあふれるまちですが、16 ページをお願いします。

個別目標 4-1、環境施策②の取組内容「県産材の住宅建設支援事業などを実施し、有効活用の促進を図ります」ですが、平成 29 年度は産直住宅の建設支援事業として、3 棟に補助金を交付する予定でしたが希望者がなかったとのことで、評価は△となっております。

また、同じく 16 ページの個別目標 4-1、環境施策④の取組内容「生産緑地指定をすすめます」に対し、生産緑地指定の推進を検討ということで、評価は△となっております。

次に基本目標 5 自発的に環境を知り、学べるまちですが、18 ページをお願いします。

個別目標 5-1、環境施策①の取組内容「環境情報コーナーを設置し、環境関連図書の紹介・貸出を実施します」ですが、平成 29 年度はPOP広告などにより環境関連図書の紹介は行いましたが、環境情報コーナーの設置までにはいたらなかったとのことで、評価は△となっております。

次に 19 ページをお願いします。

個別目標 5-3、環境施策②の取組内容「ホテルの放流など環境教育を推進する団体を支援します」ですが、ホテルの放流に際して事前の出前講座を実施予定でしたが、平成 29 年度は依頼がなく実施しなかったため評価は△となっております。

以上が取組事項に対する説明となりますが、詳細につきましては、後ほどお目通しいただけたらと思います。

続きまして、例年であればこちらの表に今年度の計画を記載させていただいてありますが、平成 29 年度に環境基本計画の見直しを行い、エコ水都アクションプランを含めた、第 3 期となる環境基本計画として「大垣市エコ水都環境プラン」を策定しております。

この計画の見直しにより、環境目標や施策の整理を行い、各関係課より、関連する平成 30 年度の計画をあげております。

お手元の資料No.1-3 に今年度の計画をまとめておりますので、後ほどお目通しいただければと思います。

なお、今年度も計画達成できるよう、各所属での取組を進めていきます。

これで、大垣市環境基本計画の進捗状況についての説明を終わります。

議長（永瀬会長）

ありがとうございました。ただ今の事務局の説明につきまして、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

水質基準は大腸菌群のままですか。

事務局

大腸菌群のままです。

議長（永瀬会長）

あれが直らないと改善しないと思われるが、その後動きはないですか。

事務局

動きは特にはないです。

議長（永瀬会長）

糞便性大腸菌にするのが一番有力かと思われるが、なかなか変わらない。変えてほしいところですが。

あと、図書館の環境コーナーですが、やらなかった理由はなにかありますか。

事務局

図書館が昨年度工事をしており、仮の場所に移転しておりまして、スペースが狭い状況であったので、そういった理由もあるかもしれないです。

議長（永瀬会長）

平成 30 年度の計画は内容が変わっているようで、生物多様性に絞ったコーナーを作るということですね。そのような事情があったとはいえ、出来ない項目ではなかったと思います。そういった意見があったことを伝えてほしい。

事務局

わかりました。

議長（永瀬会長）

そのほかに意見等はよろしいでしょうか。

それでは議題 1 の審議を終わらせていただきます。続きまして、議題 2 「大垣市地球温暖化対策の実績報告について」を事務局から説明願います。

それでは大垣市第3次地球温暖化対策実行計画の平成29年度の実績報告ということで、まず、事務事業編として、資料No.2-1をご覧ください。

この第3次の計画は、平成28年度～平成32年度の5年間の計画でありまして、基準年度は平成26年度、対象施設は、本庁舎等155施設です。対象ガスは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素で、対象項目は、ガソリン、灯油、軽油、A重油などです。

目標数値としまして、各施設は、平成26年度を基準に5.0%以上の削減、浄化センター、市民病院はそれぞれ原単位で1.3%以上と1.0%以上の削減です。また、協働分として、クリーンセンターでの一般廃棄物の焼却並びに浄化センターでの下水処理に伴い排出されるガスは、5.0%以上の削減となっております。

それでは平成29年度の削減実績ですが、まず、各施設につきましては、平成26年度の基準値より0.9%の増加となりました。

増加の主な理由としては、基準年度よりA重油や都市ガスの使用量が増加したことによります。

A重油については、クリーンセンターで28～29年度に炉の改修工事を行いました。これに伴い、耐火材を乾燥させるために空焚きをしている関係等で使用量が多くなっています。ただ、28年度よりは使用量は減っております。

都市ガスは、公営競技事務所での競輪の開催期間が冷暖房を使う期間が多かったことや、図書館が工事により文化会館に移転しており、そちらの施設で利用者への快適温度を保つために冷暖房の使用頻度が増えたことなどが要因となっております。

次に浄化センターの削減率は、10.8%と、目標以上の削減を達成しております。削減の全てではありませんが、平成29年度から浄化センターで消化ガス発電を本格稼働させており、これの影響もあり目標を達成しています。

また、市民病院は0.5%と、目標には達していませんが、削減はされております。

最後に協働分ですが、目標数値の5.0%以上の削減まではいきませんでした。基準年度に比べ0.8%の削減となっております。

続きまして、地球温暖化対策実行計画の区域施策編の進捗状況について、ご説明させていただきますので、資料のNo.2-2をご覧ください。

先ほどの「事務事業編」は、市役所自らが事業者・消費者の立場として、地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進することを目的としていますが、「区域施策編」については、市民や事業者等との協働により、大垣市全域の温室効果ガスの排出の削減を推進するため、平成29年の3月に策定したものです。



本計画には、5つの施策分野を設け、それぞれに取組み内容をあげておりますが、取組みの進捗状況を評価するための指標を設けており、資料には、平成27年度末の状況を基準値とし、平成32年度の目標値と平成29年度の実績を示しております。

ほとんどの指標については、概ね良好に進んでおりますが、平成29年度の実績が基準値より悪くなっているものが若干ございますので、それについてご説明させていただきます。

2ページをご覧ください。(3)の「ISO14001など環境管理システム等の導入件数」ですが、1件減少しております。これは、環境管理システムは導入しているものの、ISOから自主運用等への転換をされている事業所があるためと思われます。大垣市役所においても、ISOからOEMSという独自のシステムに切り替えております。ISO取得の事業所は、登録している機関から数を拾っているのですが、28年度と29年度のISO登録事業所を比較すると、かなりの事業所の顔ぶれが変わっております。これは、恐らくISOは取ったが、その後自主的な運用に切り替えている事業所が多いと思われるため、実際はこのような取り組みをしている事業所が減ったというわけではないと思われるが、こちらの指標で拾っている数値としては減という形になっております。

その下の「自主運行バスの実車走行キロメートルあたりの輸送人員」については、0.01人の減となっております。これについては、公共交通機関の利用者が減っている現状ではありますが、路線などの見直しや公共交通機関利用促進のための啓発、運転免許自主返納者に対する支援策等を進め、今後も目標達成に向け取り組んでいきます。

(5)「環境に関する講演会や出前講座等の開催数」は、12回減となっております。

出前講座等は、要請があつて開催しておりますので、例年、多少の増減は見られますが、今後も出前講座等の利用促進に努めていきます。

以上で、大垣市地球温暖化対策実行計画について、説明を終わります。

議長（永瀬会長）

ありがとうございました。それでは、ただ今の事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

岡部委員

まず一つ目ですが、地球温暖化対策実行計画についてご確認をさせていただきたい。この実行計画を策定されたことについては、地球温暖化対策推進法が基で策定しているのでしょうか。例えば、私ども事業者ですと、省エネ法あるいは地球温暖化対策推進法、県の地球温暖化防止条例など、いろいろと同じような形の報告が多いが、こちらの実行計画については温対法に基づいて策定をし、実績を報告されている形でしょうか。

事務局

そのとおりです。

岡部委員	あともう一点、資料No.2-2の「ISO14001など環境管理システム等の導入件数」ですが、ここではエコアクション21などのシステムを取り入れている場合、該当にはならないということでしょうか。
事務局	こちらの数値の方には、ISO登録事業所以外にも、今お話いただいたエコアクション21ですとかE工場なども含んでおります。実際エコアクション21の方につきましては、28年度が4事業所であったのが6事業所に増加しております。
議長（永瀬会長）	E工場というのは県のものですか。
事務局	そうです。
服部委員	資料No.2-2の一番最後の出前講座の開催数に関して依頼がなかったということや、先ほどの資料No.1-2の個別目標5-3の②で出前講座を予定していたが依頼がなかったというところで、一般企業だと営業というのをされると思うのですが、そういったことはされないのでしょうか。
事務局	例年引き続き実施していただいているものとか、学校だと最近はふるさと大垣科や4年生での地域の環境学習などがあるので、そういったものについては昔に比べれば引き合いは増えています。ただ、若干増減はあるものなので、ご指摘のとおり良いテーマのものを出したり、案内をさせてもらって改善していきたいと思います。
議長（永瀬会長）	これは学校が多いのでしょうか。学校の割合はどれくらいのものでしょうか。
事務局	出前講座を通じずに依頼があり、出前講座にカウントされずにいる学校のものも多くありますし、学校以外でも各自治会からテーマをあげて申し込まれるケースも増えています。
岡部委員	その関係で、私どもの工場の工場長が地域貢献の一つとして、自治会の公民館みたいところで、私どもの大学卒業した社員が子どもさんの夏休み中に学習塾みたいなことをやりたいということで、本今の自治会に話を持っていって行くことになりました。広報の時間が短いので、どれだけのお子さんが集まるかははっきりしていないが、事業所として地域の方に、子どもさんの勉強の手助けができないかということで少しずつ行っています。
議長（永瀬会長）	ISOの件で、取得した事業所がやめることを考えていない目標設定だったように感じる。一度取得して成果が出てしまうと、わざわざISOの為に高いお金を払っていわゆる成果ゼロを続けていく意味を、多分企業としては感じないですね。なので、やめていく。だから、過去に何年か、まあ6年

ぐらい継続して取っていて、自主運用に切り替えた事業所については取得事業所としてカウントするという仕方で、数が増えているという数字評価をしても良いのではないかなと思う。長いことやっている事業所は、上位の会社から取引しないと条件をつけられているところがほとんどである。次の平成 32 年を過ぎたときには目標値の設定を考える必要があるのではないかなと思う。

他にになにか、ご意見等よろしいでしょうか。

それでは、議題 2 の審議を終わらせていただき、先ほど諮問を受けました議題 3 に移りたいと思います。議題 3 「市の昆虫について」を事務局より説明願います。

事務局（森井主幹）

審議会冒頭に市長より諮問させていただきました「市の昆虫」についてですが、資料のNo.3-1 をご覧ください。

市では、大垣市環境基本条例に基づき、水環境保全のシンボルとして、平成 20 年 10 月に市の魚「ハリヨ」を制定しております。今年度、市制 100 周年を記念し、環境保全のシンボルとして、新たに「市の昆虫」を制定することになりました。

そこで、広報おおがき、市のホームページで案内し、6 月の 1 か月間、市の昆虫の公募を行いました。

お手元のカラー刷りの資料 3-3 が応募用紙ですが、市の各施設やホームページ、環境市民フェスティバルなどのイベントにおいて募集し、1,993 件の応募をいただきました。

2 ページにお移りいただき、応募結果の上位 10 点を示させていただいております。また、資料のNo.3-2 には応募結果の詳細をまとめております。最も多かったのは、「ゲンジボタル」で 1,071 票と約半数を集めました。続いて「ホタル」が 379 票と約 2 割、「オオクワガタ」「シルビアシジミ」と続いております。

「選定理由」につきましては、上位 2 点「ゲンジボタル」「ホタル」についていただいた主なものを記載させていただきました。

今後の予定につきましては、審議会でご意見をいただき、それを基に市議会に議案提出し、10 月 6 日開催予定の市制 100 周年記念式典にて市の昆虫を発表する予定となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。

議長（永瀬会長）

ありがとうございました。それでは、ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらよろしく願います。

岡部委員

大垣市以外で国内で市の昆虫を定められて、取り組まれている市町村というのは、調べたところあまり出てこなかったが、把握されていたら教えてい

事務局

ただきたい。

全国で数自治体について市の昆虫、虫というのを制定している。岐阜県内や近県ではなく、静岡辺りにあったと認識しています。

森部委員

ゲンジボタルやホタルとか、トンボについてもいろいろと種類があるが、大きくくりでいくのか、固有の種類でいくのかお聞きしたい。

議長（永瀬会長）

その辺も含めて我々の答申として出せば良いと思います。

服部委員

個人的な意見ですが、ゲンジというよりホタルという方が、ヒメボタルも入るしイメージ的に良いなと思います。

後藤委員

年代を見ると若い人が多いですね。

事務局

やはりホタルの保護活動をしている地域の小学生が多く応募してくれていたようです。

後藤委員

赤坂のホタルはゲンジですか。

事務局

南市橋のホタルはゲンジです。金生山のホタルはヒメボタルです。

議長（永瀬会長）

金生山ヒメボタル鑑賞会ともあるが、希少という感じがする。大垣特有のものですか。

事務局

一般的にゲンジボタル、ヘイケボタルというものが有名で、両方とも川にいる水生のホタルで、ヒメボタルは赤坂の金生山にいる珍しい陸生のホタルです。ゲンジボタル、ヘイケボタルは川にいる貝を幼虫が食べて大きくなりますが、金生山には石灰岩が多く、カタツムリの仲間の陸生貝というものがおり、それをヒメボタルの幼虫が食べて成長しています。通常他のところでは見られない、珍しいホタルです。

議長（永瀬会長）

珍しいホタルなのですね。ゲンジとしてしまうとそこをくくれない。包括的に服部委員が言われたように、ホタルとしてはどうでしょうか。

伊東委員

年代のところが気になって、10歳未満が過半数を超えている。年代によって投票結果にばらつきがあるとか、どの年代もホタルが多いとか、その辺はわかりますか。

事務局

傾向としては大きな変化はなく、概ね同じです。

議長（永瀬会長）

冒頭の市長のあいさつにもありましたが、大垣市の環境のイメージとして、

ハリンコが泳ぎ、ホタルが舞うということで環境基本計画がずっときているので、それに合致する市の魚がハリヨで昆虫はホタルとするのが自然かと。先ほどのゲンジだけでなくヒメボタルもという話もありましたので、いかがでしょうか。圧倒的にホタルが多いのは明らかなので、固有のゲンジボタルとしてしまうのかホタルというくりにするのかという議論になっていると思いますが。

当審議会の意見としては、大垣市の昆虫はホタルとするのが良いという答申としてよろしいでしょうか。

【異議なし】

議長（永瀬会長）

ありがとうございます。それでは議題3の審議を終わらせていただき、市の昆虫はホタルということで答申したいと思います。答申の文案につきましては、事務局と私の方に一任していただけますでしょうか。

【異議なし】

議長（永瀬会長）

ありがとうございます。これをもちまして、本日の審議会に付議されました審議は、すべて終了いたしました。以上で議長の職を終わらせていただき、事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

事務局（青井課長）

それでは、「3.その他」についてですが、事務局から今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。

事務局（森井主幹）

その他として、報告事項となりますが、市の魚を「ハリヨ」と制定して、今年は10周年の記念の年となります。そこで、10月25日（木）に大垣市スイトピアセンターにてシンポジウムを開催する予定をしております。

また、12月1日（土）には、市の昆虫制定の記念講演会を開催する予定です。

詳細が決まりましたら、改めてご案内させていただきますので、是非ご参加いただければと存じます。よろしくお祈いします。

事務局（青井課長）

その他、何かご意見等がございましたらご発言ください。

長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。

委員の皆さまにご審議をいただいた「市の昆虫について」、永瀬会長から市長へ答申していただきます。

市長への答申は、平成30年8月3日（金）10時から市長室において予定しております。

それでは、長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。以上で平成30年度第1回大垣市環境審議会を閉会とさせていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございました。  
お気をつけてお帰りください。

**【閉会】**

(閉会 15時00分)